

和地ひとみレポート No.200

もう、ご覧になりましたか？

市が新たに東大和市のプロモーションビデオを制作

■東大和市のプロモーションビデオ

…「戦後70年東大和市の戦争体験映像記録」や「自治会活動PR動画」など、以前もこのレポートでも取り上げましたが、昨年市では様々な動画を制作し、ホームページに掲載しています。この5月には新たに市のプロモーションビデオ3本が『東大和市公式動画チャンネル』に追加されました。

*「魅力いっぱい@東大和市」

人の数だけ笑顔がある～東大和市5つの笑顔の理由～



「東大和市」の魅力を総合的に紹介する約16分の動画

*「住もうよ@東大和市」

ここから始まる家族の物語

～ふと幸せに気づく街 東大和市～



「東大和市」の魅力を、ドラマ仕立てで紹介する5分の動画

*「遊びにおいでよ@東大和市」

多摩湖がある街～東京都東大和市～



「東大和市」の自然などの魅力を紹介する5分の動画

■市が紹介したい東大和市のウリは

…今回のビデオを観てみると、子育て世代の方に、東大和市を住む町として（≒自宅を購入する町として）選んでもらいたいという市の思いが伝わってきました。「魅力いっぱい@東大和市」人の数だけ笑顔がある～東大和市5つの笑顔の理由～では、市の魅力として以下の5つのポイントを紹介しています。

- ① 交通の利便性＝新宿や立川、所沢へのアクセスの利便性を紹介
- ② 子育て世代にやさしい街＝民間企業の「共働き世帯にとって子育てしやすい街」の調査で都内で上位にランキングされたことや、待機児童の少なさや、幼稚園、保育園、学校の数、病児のお迎えサービスなどを紹介
- ③ 住みやすい環境＝市内に便利なショッピングセンターなどがあること、静かで落ち着いた住宅地などを紹介
- ④ 人と人のつながり＝人とのつながりを持てる様々なイベントや行事があることを紹介
- ⑤ 豊かな自然＝多摩湖周辺や大きな都立公園、狭山丘陵などがあることを紹介

…東大和市は認知度が低い、多摩湖など自然しかウリがないという声も耳にしますが、今回のビデオを観て、客観的に見ても東大和市が本当に住みやすい街であることを再認識しました。また、今回のプロモーションビデオでは、行政の取り組みも盛り込まれており、「都市間競争が激しくなっている」中で、今まで東大和市に不足していた「行政サービスで東大和市をPRしようとする姿勢」が感じられました。

■せっかくのビデオの活用方法にも工夫を

…今、全国の多くの自治体が「自分の街」をPRするプロモーションビデオを制作しています。中には香川県の「うどん県に県名を変える」など、突飛な内容でテレビなどでも話題になるプロモーションビデオも多くあります。今回、制作された東大和市のプロモーションビデオは突飛な内容ではありませんが、これから住む街を選んでいる人が観れば、参考になる良い内容になっていると思います。ただ残念なことに、公式動画チャンネルの「再生回数」を見ると、一番多いものでも400回程でした。

…プロモーションビデオの目的「東大和市を知ってもらう」「東大和市に来てもらう」のための効果的なツールとするには、もう一工夫必要。例えば、不動産関係のサイトを運営している会社に案内をする（リンクを貼ってもらう）、インターネットで「多摩 住みやすい」などのワードで検索をした際に上位にくるような工夫をするなど、「東大和市を知らない人」にも閲覧してもらえるような取り組みも同時に行うことで、このビデオの効果も上がってきます。市はビデオ制作で終わりにせず、観てもらえる、気付いてもらえる工夫も並行して行っていくべきだと思いました。

顔の見える議員として市民感覚を市に届けたい・・・

…日頃、私、和地ひとみの市政報告レポートをお手に取っていただき、心より感謝申し上げます。初めて市民の皆様への負託を受け、議員として市議会に送り出された平成23年の春から、武蔵大和駅前配布しているこのレポートも、今号で200号となりました。2期目となった昨年の統一地方選挙後からは、武蔵大和駅に加え、東大和市駅でもレポートを配布させていただいています。

おかげさまで、スタート当初と比べ約5倍もの方にレポートを手にしていただけるようになりました。

毎回、つたない文章等いたらない点も多くある私のレポートですが「私たちのまち、東大和市」の“今”をタイムリーに伝えたいという一心で、続けさせていただいています。そして朝の駅での皆さまとの触れ合いは私にとって、大切な時間となっています。

…選挙の際に、自身の考えを市民の皆さまに伝えるだけではなく、市民の代弁者として議会に送っていただいた後も日常的に市政のことや、自身の意見や考えを市民の皆さまに報告する…私がレポートを書く理由は自分の住んでいるまちの一番身近な行政で、何が起きているのか、どんな取り組みがされているのかを伝えることも、市議会議員の一つの責務だと考えているからです。国政のことは、新聞で毎日取り上げられますが、市政のことは月に2回の市報の、それも限られた紙面での情報提供しかありません。もちろん、今はインターネットの市のホームページを見ることで、市報以上の情報も得ることはできますが、ホームページを見るということは、目的を持って自発的にアクセスしなければなりません『知らない事』を調べる、見つけ出すことは困難です。そして、知らない事は「(そのサービスを)利用できず」「興味も持てず」「意見も持てない」と私は思います。また、行政の取り組みには決定するまでの背景や経緯があり、それを知ることによって市民の皆さまも納得できるということもあると思います。

…市行政の中では毎日様々なことが起こっています。それを市民感覚で見て、市民感覚でタイムリーに伝えることは市議会議員の役割の一つ。この考えは、私が一会社員から市議会議員になった際から、持ち続けているものです。

…さて、このレポートでも度々書かせていただいているのですが、地方分権の加速化により、本当に「自治体間競争」が激しくなっていると感じる今日この頃です。私達が受ける日常的な行政サービスが住む自治体によって大きく変わることが現実のものとなっています。

「競争が激化した」ということを言い換えれば、競争の中で経営をしている民間企業的な感覚が行政にも必要になってきたということです。国や都の政策の実務を市が担っていた時代は、ほとんどの自治体で受けられるサービスに大差はなく、市行政にはミスなく実務をすることが求められていました。しかし、今は、市独自の政策による部分が多くなり、今までは求められていなかった創造力やマーケティング力、経営力なども市行政には必要になっています。

…「行政はサービス業」ですが、サービス業の基本は「利用者(≡お客様)を知ること」です。市行政の方向性、力を入れて取り組む分野については、市民に選ばれた市長の政策によるところも大きいですが、具体的なサービスを作り出す際には、やはり、利用者である市民を知る必要があると思います。その市民の感覚や声を届けることも市議会議員の一つの役割だと思います。

…私のレポートでは日常の中での「小さな気づき」「市民感覚からみた意見」を書かせていただいています。レポートを私のホームページで読み、参考にさせていただいている市の職員の方もいることが先日わかりました。市議会定例会で大々的に取り上げ、市に提言することも重要ですが、日常的に「市民感覚を伝える」ことも「住んで良かったまち」「住みたいまち」「時代に合った行政」の実現には重要なことだと感じています。

…そして、私の気づき等は、市民の皆さまと顔を合わせる機会があるからこそ感じられる感覚が源になっているとも感じています。東大和市は大きなポテンシャル(潜在能力、可能性の力)を持っています。

そのポテンシャルを最大限に活かし、具現化するためには、行政の力だけではなく、市民の声や感覚も必要です。これからも、駅でいただく皆さまの一言やご意見を大切に、東大和市の進化、発展のために尽力してまいります。今後ともご意見などございましたら、お気軽にお声がけいただければ幸いです。

市政、議会について「自然体」「ざっくばらん」にレポート。駅前で配布するレポートは毎回、最新号です。

「私たちの身近にある市政、市議会。伝えることがスタートだと思います。」
【プロフィール】



1970年 東京都北区生まれ。父の転勤で1歳から群馬県で育つ。幼稚園からカギっ子。リーダーシップを発揮し、小学校で児童会長、中学校でも生徒会長を務める。大好きな音楽を究めようと武蔵野音楽大学に進学、卒業。卒業後は群馬の山奥の小学校で臨時教諭として担任を2年勤め、新しい試みで授業を活性化させ「元気印の先生」として保護者・生徒から親しまれた。『「学校」の外の一般社会で挑戦しよう』とベンチャー企業の(株)シートゥーネットワーク(※スーパーマーケットを経営。店頭公開から一部上場、外資系企業に転換)に社長秘書として入社。のち店舗現場に異動、同社で初の女性店長となる。その後、人材開発部長を拝命。『「人を活かす」経営を学ぶため一念発起カナダに留学。外から見た日本の将来に、漠然とした不安を感じる。帰国後は、不動産投資会社にて企画業務、税理士対応、広報などに従事。2011年4月、初当選。顔の見える議員として、日々奮闘中。

東大和市 市議会議員
和地 ひとみ

■ 連絡先 和地 ひとみ事務所 HP : <http://www.wachi1103.jp>
✉ wachi_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp 【電話・FAX】 042-516-8546
〒207-0005 東大和市高木3-274-2-102